

社会科教員のためのジオグラフィック・アライアンスの開催 授業で使える地理学：江戸・東京の神話的空間と映画における場所の意味

国土館大学地理学教室では、7月26(火)、27(水)の2日間にわたり、社会科教員を対象とした標記の研修会を開催します。当教室では、2001年以降、リモートセンシング、GIS、地域調べなどのテーマで社会科教員を対象とした研修会を開催しており、今年で5回目です。

「地誌」の目的である、場所を記述し理解する方法は一つではありません。ある場所を語るにあたって、気温・降水量・農産品・工業出荷額などの統計資料を網羅した分厚い地誌の教科書が、芭蕉の作った17字の文や、セザンヌの描いた1枚の絵よりも常に説得力があるとは限らないのです。そこに、神話・伝承・芸術作品などをテキストとして解読し、そこに描かれた場所を理解する意義があります。今回は、できるだけ現場の先生方に利用しやすいテーマということで、つぎの二つの題材を用意しました。

江戸・東京の神話的空間を歩く：家康は千年の京都にならぬ、江戸城の周囲に江戸を加護する無数の地霊と神仏が配置されるようデザインし、江戸を神話的空間とすることを意図しました。明治維新と敗戦という二度にわたる価値観の転換によって、そのような場所の神話性は急速に忘れ去られていきましたが、この種の異界への窓口は「都市の中の闇」として現在もなお生きています。こうした場所を訪ねながら、江戸・東京の神話的空間をテキストとして、近代都市東京に埋もれた場所の意味を読み解きたいと思います。

映画作品における場所の意味：芸術作品をテキストとした研究事例を紹介します。テキストには、中学生や高校生にも受け入れられやすいものの中から、映画作品(とくにアニメ映画)をとりあげ、実際に映画を鑑賞しつつ、その中に描かれた場所の意味について解読します。

1：開催の目的

1)：大学の研究成果を、社会・教育界へ還元する。

2：内容

- 1)：人文主義地理学に関する簡単な紹介と講義。
- 2)：江戸・東京の神話的空間の意味の解読と現地の巡検。
- 3)：映画作品をテキストとした場所の意味の解読。

3：対象者・条件

高校の「地理」担当教員、中学の「社会」担当教員など20名程度。先着順で受け付けます。

4：開催日時

2005(平成17)年7月26日(火)～27日(水)の2日間。午前10時～午後5時30分

5：場所

国土館大学世田谷キャンパス 都内数カ所の巡検

6：担当者・補助者

文学部地理・環境専攻 助教授 内田順文
大学院生数名をTA(ティーチング・アシスタント)とする。

7：参加費(教材費などの実費)

2000円(ほかに巡検中の交通費が500円ていどかかります)。

8：研修会の日程(プログラム)

後日発表します。

9：申込み方法、締切

下記へeメールまたはFAXで申し込んでください。参加費は当日直接徴収いたします。参加者には7月15日ごろをめどに、申込者の連絡先住所へ最終的な日程やプログラム、会場への道順などの最終のご案内を差し上げます。また、問い合わせ等はeメールでお願いします。

締切：2005年7月15日

申込先：〒154-8515 東京都世田谷区世田谷4-28-1

国土館大学文学部地理学教室 内田順文

E-mail : uchida@kokushikan.ac.jp FAX 03-5481-3328(文学部事務室)

<http://bungakubu.kokushikan.ac.jp/chiri>もご覧ください。

参加申込書

eメールの場合は、必要事項のみ記入してお送りください。FAXの場合は本用紙を適宜コピーしてお送りください。申込書の記載事項にもれの無いようにしてください。

社会科教員のためのジオグラフィック・アライアンス
「授業で使える地理学：江戸・東京の神話的空間と映画における場所の意味」
参加申込書

氏名、生年 読みにくい漢字には ふりがなを	19 年生
勤務先・担当科目	担当科目
連絡先（〒、住所、電話、FAX、E-mailなど） 最終案内の送付先、 緊急連絡先などをお 書きください	
都区内の巡検を行う際、希望する場所がありましたらご記入ください。	
取り上げてほしいテーマなど、ご希望がありましたらお書きください（ご希望に添えない場合もございます）。	この研修会の開催を何で知りましたか？ 1：ホームページ 2：地理学評論 3：雑誌 地理 4：雑誌 地理教育 5：クチコミ 6：ダイレクトメール 7：その他

送り先：〒154-8515 東京都世田谷区世田谷4-28-1

国土館大学文学部地理学教室 内田順文

E-mail：uchida@kokushikan.ac.jp

FAX 03-5481-3328（文学部事務室）